

＜消費税増税後の家計のあり方を考える＞

6/30（火）主婦会館プラザエフにて、2014年生協「生計費調査」報告交流会が開催されました。家計簿・くらし調査研究会のメンバーも参加してきました。テーマは＜消費税増税後の家計のあり方を考える＞で、家計簿の数値やリサーチから消費税増税の影響や、所得における負担などの報告がありました。今月号では消費税増税の影響と負担についての報告をご紹介します。

消費税増税の影響

◇実収入と消費支出の変化（2013年と比較した結果）

年収	全モニター世帯		給与所得世帯※	
	実収入	消費支出	実収入	消費支出
400万円未満	増加	増加	減少	増加
400～600万円未満	減少	増加	減少	減少
600～800万円未満				
800～1000万円未満	増加	減少	増加	減少
1000万円以上				



2014年 日本生協連 全国生計費調査
「家計簿からみた私たちのくらし」より

※給与所得世帯とは、総収入の半分以上が夫・妻の「給料」「賞与」で占められる世帯

* 消費税増税による物価の上昇がありました。

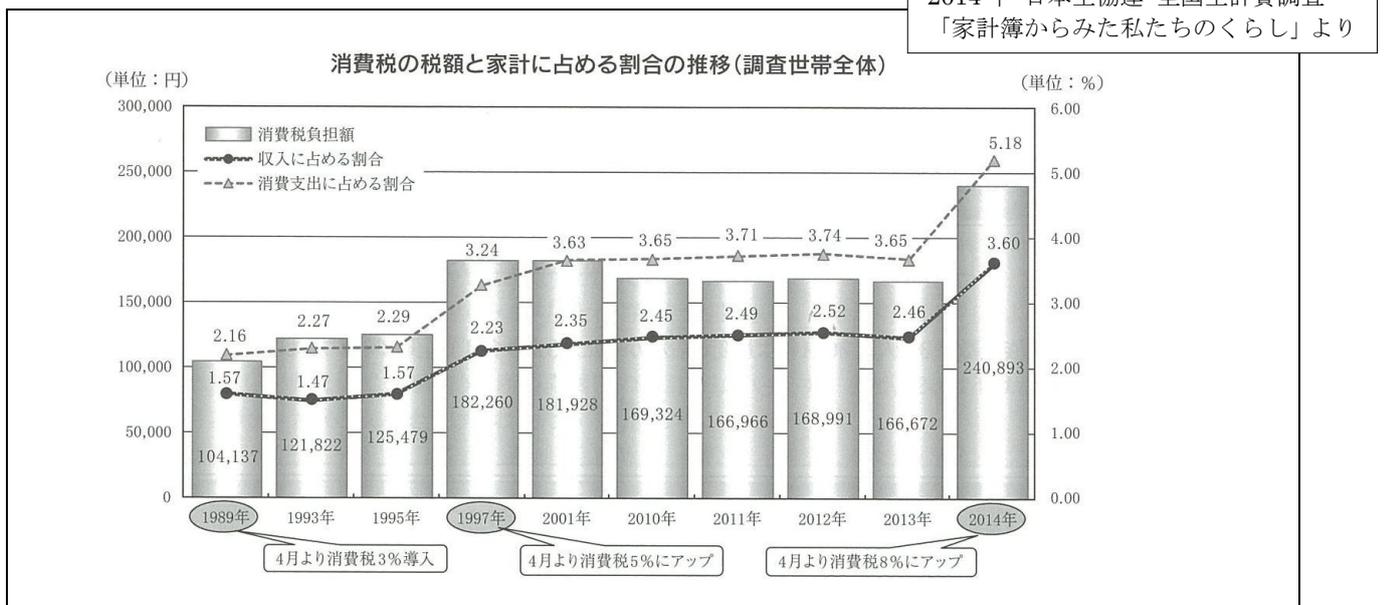
低所得層は生活に欠かせない支出の割合が大きいため、消費支出が増えています。

* 全体に意識的な節約が進みました。

高所得層は生活に欠かせない支出の割合より、その他の支出の割合が大きいため、節約が容易で、支出が減少しました。

消費税増税の負担

◇消費税の税額と家計に占める割合の推移



* 1世帯あたりの年間消費税額は、平均 240,893 円。消費支出に占める割合は 5.18%、収入に占める割合は 3.6%で、前年より大きく増加しました。

* 消費税 5%（1997年）と 8%の増税（2014年）を比べると、8%消費税増税（2014年）は消費税の負担額は 1.32 倍に、収入に占める割合では、1.61 倍に、また、消費支出に占める割合は、1.59 倍になっています。